

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	鍼灸臨床学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	503教室
担当教員	嶋田 琢磨	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸治療が行われている疾患のうち、2年次に診断学・治療学を学んだ。それらを元に西洋医学の各症状別のアプローチができる現代医学的治療法の知識を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学臨床論 <はりきゅう編>』(医道の日本社) 参考書:ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理						
《履修に当たっての留意点》						
3年生では症例から検査、鍼灸治療に繋げることが重要である。2年次に学んだ「鍼灸治療学」の復習をしっかり行い、疾患を鑑別できる知識を深めることが大事である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断の意義と治療計画を理解する	教科書 プリント等	シラバス確認。 講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	現代医学的診断のプロセス			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察法と記録法を理解する①	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	現代医学的診察法(基礎的手技の名称と概要)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察法と記録法を理解する②	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	SOAP形式			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療の基礎を理解する①	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	現代医学理論に基づく治療原則			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療の基礎を理解する②	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	運動療法・物理療法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療①		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	神経・運動器の症候①			
第7回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療②		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	神経・運動器の症候②			
第8回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療③		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	神経・運動器の症候③			
第9回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療④		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	神経・運動器の症候④			
第10回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療⑤		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	呼吸・循環の症候			
第11回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療⑥		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	消化器の症候			
第12回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療⑦		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	腎・泌尿器の症候			
第13回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療⑧		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	生殖器の症候			
第14回	講義形式 授業を通じての到達目標	症候に対する鍼灸診療⑨		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	その他の症候			
第15回	講義形式 授業を通じての到達目標	まとめ		教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
	各コマにおける授業予定	まとめ・評価の確認			